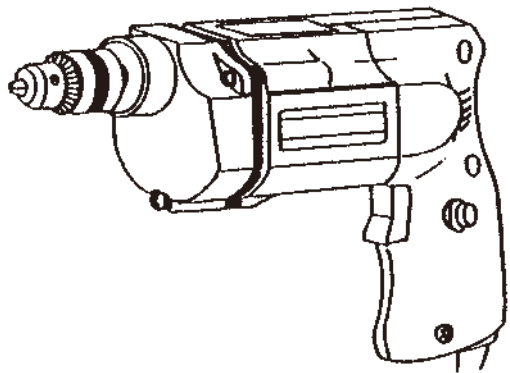


電気ドリル DR-10

取扱説明書

この度は、弊社「電気ドリル DR-10」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に必ず取扱説明書をお読み下さい。尚、この取扱説明書は大切に保管して下さい。



HOMETOOL

■ご使用上の注意事項

- 商品の運送途上での衝撃等により、商品が破損したり、取付部品が外れたり、曲がったりする場合がありますので、ご使用前に必ず確認して正規の状態でご使用下さいませようをお願い致します。
- 差し込みプラグを電源に差し込む前に、スイッチが切れている事を確認し、使用後及び停電の際にはスイッチを切り、差し込みプラグを抜くように心がけて下さい。
- 整備点検、部品交換の際は、必ずスイッチが切れている事を確認し、差し込みプラグを電源から外して下さい。
- 運転中、機械の調子が悪かったり、異常に気付いた時には、直ちに使用を中止して下さい。
- ご使用前には、本体各部のネジ類がしっかり締め付けられているか確認して下さい。
- 製品は、大事に扱って下さい。誤って落としたり、ぶついたりした場合は、異常の有無を確認して下さい。

△危険

- 運転中は可動部には絶対に手を触れないで下さい。

△注意

- 電源電圧は、銘板の表示と一致しているか確認して下さい。100V用のモーターを200Vで使用しますと、モーターが発熱して危険です。逆に低い電圧で使用しますと、力不足となります。

- 能力を超えた作業は事故のもとです。始動後、正規の回転数になってから作業を開始して下さい。
- ドリルビットは完全にチャックに差し込み、締め付けてからご使用下さい。

△危険

- 加工素材の下に手を置いて作業しないで下さい。

- 作業の能率や安全のため、加工素材に適したドリル刃を使用し、又、使用説明に従って、しっかりと取り付けられているか確認して下さい。

△危険

- 雨中、湿った場所、濡れた場所での使用は避けて下さい。感電事故の原因になり、モーター絶縁を低下させます。

- 安全な作業をするためには、作業場所は常にきれいに整理をし、十分な採光が必要です。散らかした作業場所は事故のもとです。

△危険

- 作業場所には作業関係者以外は近付けないで下さい。特にお子様は危険です。

△危険

- 作業中の手袋の使用はおやめ下さい。巻き込まれる恐れがあります。

△危険

- 作業時の服装は身軽なもので行って下さい。手袋、ネクタイ、袖口の開いた服装は可動部に巻き込まれる恐れがあります。

- チャックハンドル、調整用スパナ、レンチ、ドライバー類は使用後すぐに取り外すようにして下さい。スイッチを入れる前には、それらが外してあるか確認して下さい。
- 本機は、お子様の手の届かない所に保管し、湿度の高い所、雨のかかる所、直射日光のあたる所は避けて下さい。

△注意

- 作業中は安全メガネ、防塵マスクを着用して下さい。

△危険

- 揮発性可燃物（シンナー、ガソリン等）の近くでは絶対に使用しないで下さい。

- 本機はDIY商品として開発された製品です。一般家庭用としてご使用下さい。

■特長・用途

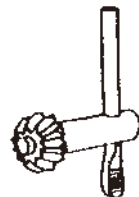
- 各種金属、木材の穴開け
- 軽量で携帯に便利

■仕様

| | |
|--------|----------------|
| 型式 | DR-10 |
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz |
| 電流 | 3.65A |
| 消費電力 | 350W |
| 無負荷回転数 | 2,400r.p.m |
| チャック能力 | 1.5mm~10mm |
| 穴開け能力 | 鉄工10m 木工13mm |
| 本体重量 | 1.6kg |

※改良のため、製品の仕様、外観が変わることがあります。
※穴開け能力は、素材の硬度によって異なります。

■付属部品図

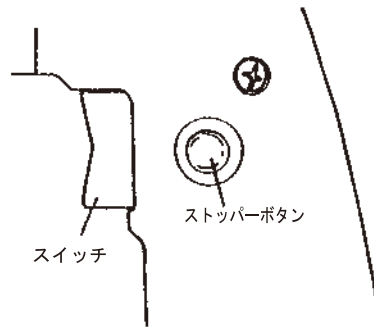


チャックハンドル

■使用方法

1) スイッチ

- スイッチは押すと入り、離すと切れます。
- 連続使用される場合には、スイッチを押しながらストッパーボタンを押して下さい。スイッチから指を離してもスイッチは固定されて連続使用ができます。



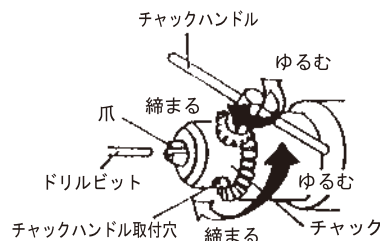
スイッチ

ストッパーボタン

2) チャック

- 図のようにチャックハンドル取付穴に付属のチャックハンドルを差し込み、チャックに取り付けるドリルビットの袖の径に合わせて爪を開きます。
- そこにドリルビットを入れ、チャックの3箇所穴にチャックハンドルを入れて均等な力で締め付けて固定します。
- 取付後、軽くスイッチを入れてみて、ドリルビットの先端にブレがない事を確認して下さい。

※ドリルビットは付属されておられません。



チャックハンドル

ゆるむ

爪

締まる

ドリルビット

チャックハンドル取付穴

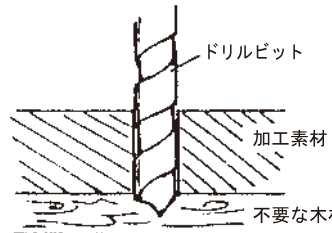
ゆるむ

チャック

■穴の開け方

1) 木材の穴開け

- 木工用のドリルビットをご使用下さい。
- 十分に回転数を上げた後、ドリルビットの先端を穴を開ける位置に当て、加工素材に対して垂直に保持してスイッチを入れて下さい。
- 無理に力を入れたりしないで下さい。
- 加工素材の裏側に不要な木材を当て、加工素材と一緒に穴開けをしますと、裏側がきれいに仕上がります。



ドリルビット

加工素材

不要な木材

※ドリルビット、加工素材及び不要木材は付属されておられません。

2) 金属への穴開け

- 鉄工用のドリルビットをご使用下さい。
- ドリルビットの先端が滑らないように、穴開け位置にセンターポンチ（市販品）を打っておくと、正確な穴開けができます。
- ミシン油等をドリルビットの先端に時々付けてドリルビットを冷却すると、ドリルビットが長持ちします。

■トラブルの原因と対策

| 故障の種類 | 原因 | 対策 |
|------------|--|---|
| モーターが動かない | <ul style="list-style-type: none"> 電源からの入力なし モーターの故障 スイッチの故障 | <ul style="list-style-type: none"> プラグ、コードの点検 モーターの交換 スイッチの交換 |
| ドリルビットのブレ | <ul style="list-style-type: none"> チャックのゆるみ チャックの故障 | <ul style="list-style-type: none"> チャックの固定 チャックの交換 |
| ドリルビットの不具合 | <ul style="list-style-type: none"> 切粉のはげが悪い ドリルビットの切れ味不良又は素材とドリルビットが合っていない ドリルビットの切削油切れ | <ul style="list-style-type: none"> ドリルビットをきれいにする ドリルビットを砥ぎ直すか交換する 注油する |

株式会社 ナカトミ産業

〒382-0836 長野県上高井郡高山村大字高井6445番地2

●商品についてのお問い合わせは「お客様相談窓口」までご連絡下さい。

お客様相談窓口 TEL.026-245-3105 FAX.026-248-9615